

(3) 目的別決算額の推移

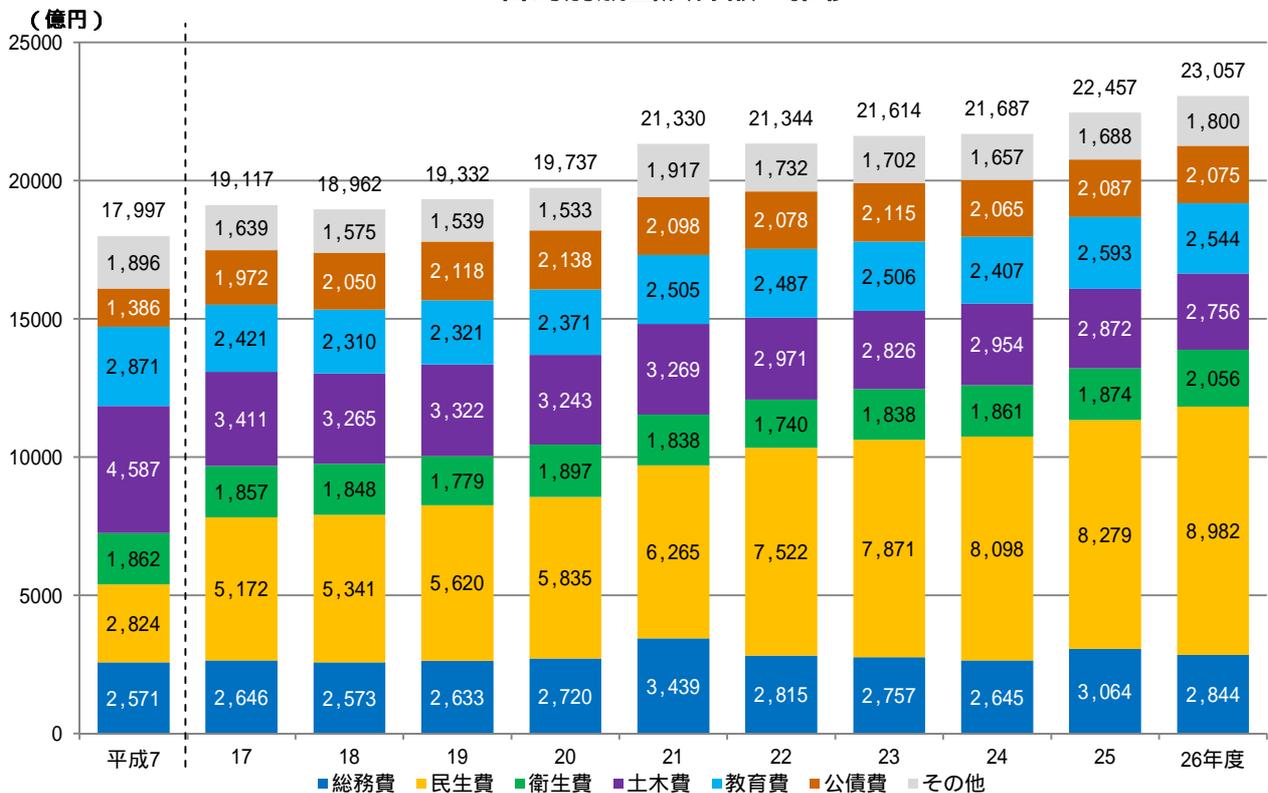
民生費は、社会福祉費や児童福祉費、生活保護費が増加したことにより、全体で703.1億円増加(+8.5%)し、歳出総額の39.0%を占めています。

社会保障関係費である民生費と衛生費は年々増加を続け、平成26年度歳出決算額は、合計で1兆1,038億円となりました。これは、20年前の平成7年度(4,686億円)と比べると6,352億円増加しており、歳出総額に占める割合も、平成7年度の26.0%から47.9%へ21.9ポイント増加しています。

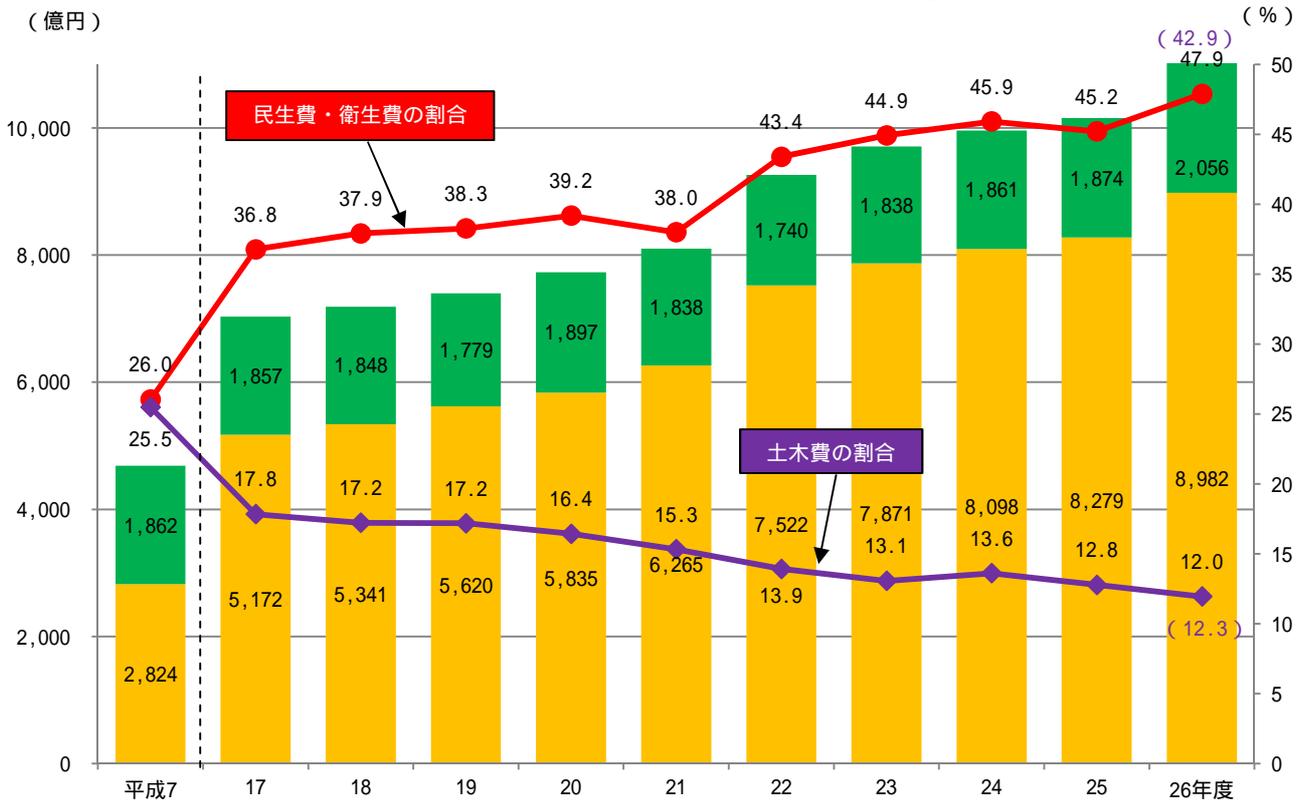
一方、道路や河川、下水道などインフラの新設・更新関係費である土木費は平成7年度と比べると約6割となりました。

今後、少子高齢化の進展により社会保障関係費がますます増加することが見込まれ、インフラや公共施設などの新設・更新の財源をどう確保していくが課題となっています。

目的別歳出決算額の推移



社会保障関係経費と土木費の推移



社会保障関係費 = 民生費 + 衛生費

() 内は平成 26 度全国市町村平均値

- 用語解説 -

総務費

庁舎管理、徴税事務、戸籍・住民基本台帳関係事務、選挙、統計調査などの経費です。

民生費

年金、生活保護、各種福祉手当、各種福祉施設などの経費です。

衛生費

健康診断、予防接種、公害対策、清掃施設などの経費です。

土木費

道路、橋、河川、住宅、公園などの経費です。

教育費

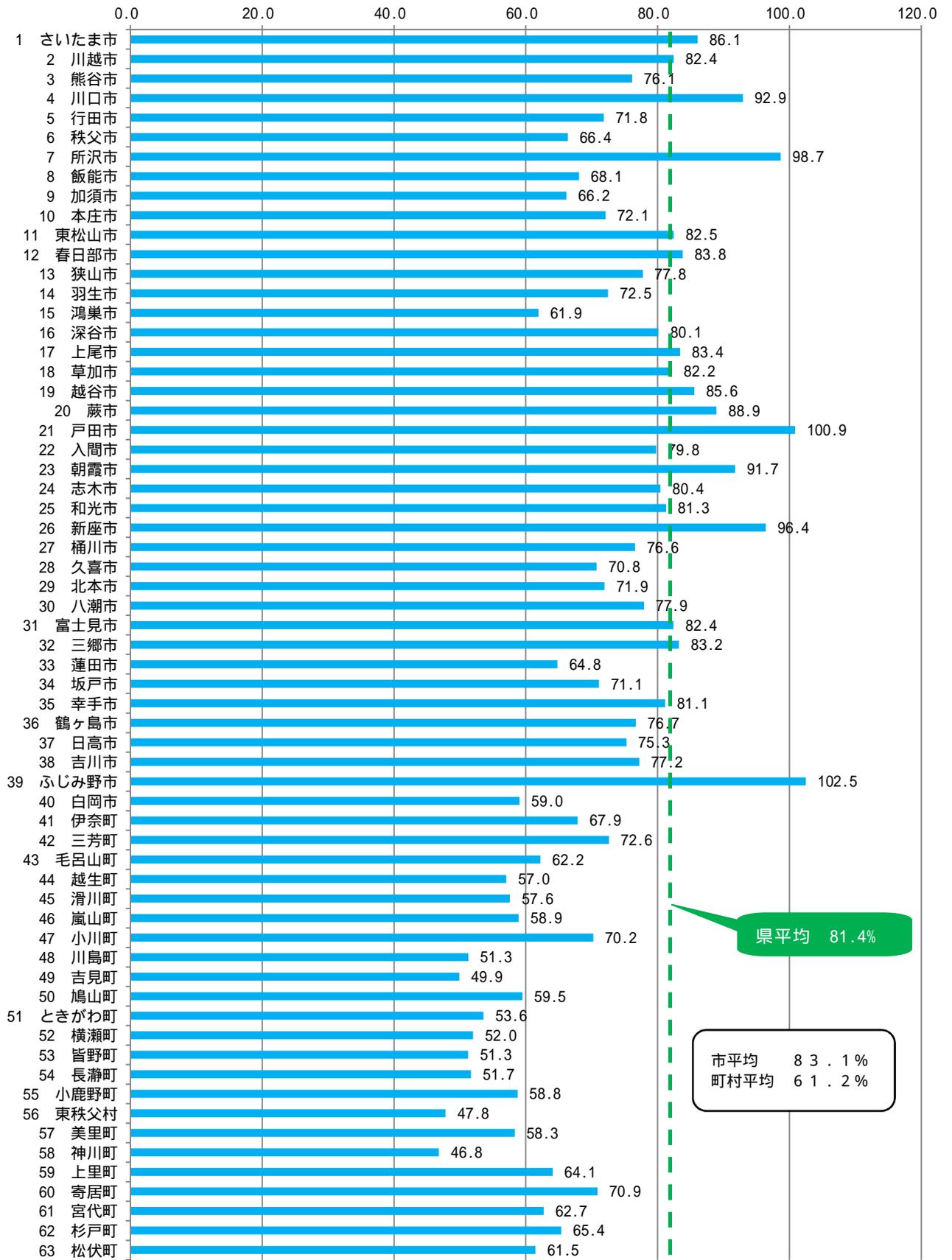
学校教育、社会教育などの経費です。

公債費

借入金の元金・利子などの支払いに充てた経費です。

標準財政規模に占める社会保障関係経費の割合

(%)



社会保障関係費 = 民生費 + 衛生費

人口1人あたりの社会保障関係経費

平成27年1月1日現在の住民基本台帳人口より算出

(万円)

